

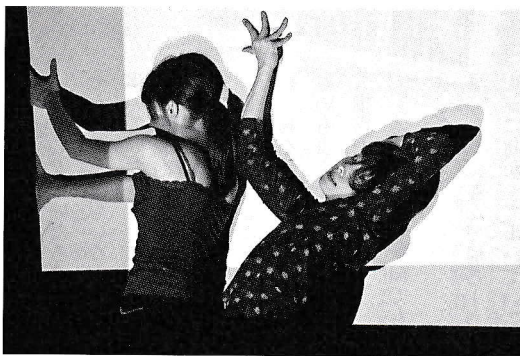
モレキュラーシアター月島(東京)公演ルポ

《八戸の女優陣が東京で絶賛》

文／豊島 重之(モレキュラーシアター芸術監督)



月島公演より：苫米地真弓(左) 高沢利栄(右)



同：四戸由香(左) 秋山容子(右)



同：田島千征

撮影：佐々木 遊

(1) 八戸市を拠点とするモレキュラーシアター(高沢利栄代表)が芸術文化振興基金助成事業として、もんじゃ焼きで有名な東京月島のアートスペース「テンポラリー・コンテンポラリー」で、去る11月7(金)・8(土)・9(日)の三日間、豊島重之演出・美術による演劇『イリュミオール・イリュミオール』公演を開催した。80名も入れば満席の白い壁面に包囲されたギャラリーは連日満席状態。タイトルの意味は「人工的に光る虫／病気で光らない虫」季節を間違った蜜。イリュミオールを「ハエ」とするならイリュミオールは「ハエのたかる死体」というほどのニュアンスであろう。

(2) 客席の顔ぶれがすごい。札幌から駆けつけた写真家の露口啓二さん・八戸から造形家伊藤 三子さん・ICANOF代表米内安金・ICANOF展でおなじみの矢野静明・江澤健一郎さん・(かつて青森県庁文化課長で現在は)東京藝大副学長の堀江振一郎さん・八戸市東京事務所の水野茂樹さん・八戸出身の芸術思想家及川廣信さんをはじめ、世界的な詩人吉増剛造さん・多摩美大教授の写真家港千尋さん・一橋大教授の哲学者鶴飼哲さん・立大教授の哲学者宇野邦一さん・明大准教授の倉石信乃さん・東大教授の内野儀さん・法大教授の岡村民夫さん・近畿大教授の紐秀実・八角聡仁さん・映像作家の小原真史・金子遊さん・詩人の稲川方人・瀬尾育生・佐藤恵・野村喜和夫さん・批評家の鴻英良・前高西一馬・志賀信夫・七字英輔さん等々。忘れてはならないのが最近モレキュラーサイト(Provisional)を立ち

Friday Amusement Negative Shop
11月のFANS (774~777回)
【だべり場 2008.12】
 ※演劇上演ではありませんが、お気軽にお立ち寄りください。
 この公演は、次の日程で上演予定です。

開演	12/5	12/19	12/26	12/27
14:00	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●

 ※入場料：無料

(3) 特筆すべきはモレキュラー女優陣に対する絶賛、とは言わないまでも、手応えのある好評である。ことに作品の軸をくつきりと据えたプロジェクトショナー秋山容子の立ち姿。田島千征・苫米地真弓のフライング(フライハエ)をも辞さない逸脱的な異例性。若手ながら品性のある俊敏さで圧倒した四戸由香。四角い光のフレームを「収容所状況」に変換してみせた大久保一恵。そしてすべてを取り仕切った高沢利栄。では、演出家である私は何をしていたのか。ほぼ何もしていない。ただ、彼女たちの舞台に見とれていただけだ。いいのか、そんなことで。勿論いいのだ。演出家があればこれ手取り足取りしているようでは、世界に通用する演劇はおよそ不可能なのだから。

演劇空間
スペースベン

八戸市柏崎1-11-8
 ☎ 0178-43-9876
 FAX 050-3588-8350
 ☎ 080-6025-0990

HP <http://spaceben.com/> Eメール owner@spaceben.com
 ※特別番組以外全て午後7時30分～、料金／一般400円 高校生以下100円(当日100円増)
 ※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

12月号好評発売中!

●今月のテーマエッセイ「鍋物」

カラヤキ鍋の昼……………阿部 幹
 おめでとう……………萬谷 由香
 サムゲタン……………山内 明
 人生ちゃんこ……………山本 まゆみ
 闇鍋ノススメ……………佐々木 良子
 負けるなマロニー……………奥谷 富美子



●今月のインタビュー

日立チェーンストール(西野電器代表)

にし の じょう たろう
 西野錠太郎さん(67歳)に聞く

読む楽しみ **読物満載**

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所／うみねこ出版社
 八戸市六日町10 いわとくパルコ3F
 TEL・FAX 0178-44-6636